

演劇「徳島の記憶」の物語を描く劇作家を募集します

経験の有無
問いません!

劇作家募集

徳島で暮らしてきた方々のかけがえのない体験や思い出を演劇作品にしてみませんか?

演劇「徳島の記憶」とは

徳島で生まれ育った皆さまの思い出や記憶をもとに
戯曲（物語）を書き起こした物語を演劇作品にして上演します。

私たちが知っている「街の歴史」には記録されていない、私たちの身の回りの、ごくごく個人的なエピソードの数々。その時代に生きた家族のこと、仕事のこと、初恋のこと、結婚のこと、別離のこと……いつか消え去ってしまう、「個人の歴史」を集めれば、新たな「街の歴史」となるのではないのでしょうか。

本公演 2027年2月28日(日) 14:00～

会場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館) 1階 ホール

募集要項

募集人数 若干名

応募資格

- ・劇作をしてみたい方(初めてでも大丈夫です)
- ・演劇の作品作りに興味のある方
- ・インタビュー及び台本ワークショップに参加出来る方

※インタビュー日程は複数設ける予定ですが、いずれの日にも参加が難しい場合、参加を辞退いただく可能性があります。

応募方法 裏面の応募申込書を持参いただくか、**郵送**か**メール**でご提出ください。

応募先

郵送 〒770-0835 徳島市藍場町2-14
あわぎんホール「徳島の記憶」担当

E-mail oubo@kyoubun.or.jp
件名→「徳島の記憶 劇作家」

《様式ダウンロード》
<https://kyoubun.or.jp/>



応募締切 2026年**5月24日(日)** **必着**

【注意事項】 今回の公演では、取り上げなかったエピソードについても、今後の公演や広報などに使用させていただく場合がございますのでご了承ください。

スケジュール

インタビュー

6月

13～15日頃
を想定

講師とともに「徳島の記憶」エピソードを提供いただいた方にインタビューを行います。

※日程は後日決定し、参加者にご連絡させていただきます。

台本作成

7月

講師の指導のもと台本を作成。
インタビューを元に、5分程度の小作品を作成します。8月上旬を目処に初稿を完成予定。

※必ずしも上演作品に選ばれる訳ではありませんのでご了承ください

台本ワークショップ

8月

9月

10月

8月・9月・10月に各1回、講師の指導のもと出来上がった台本の手直しを行います。

※ワークショップの日程は参加者とも相談の上決定します。

台本完成

11月頃

出来上がった小作品から、講師の内藤裕敬氏が5～6作品を選出しひとつの演劇作品に構成します。

上演

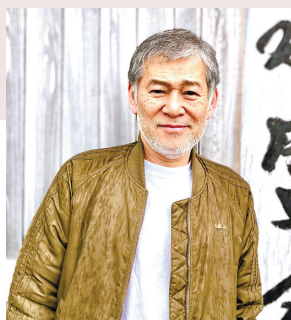
2月

2027年2月28日(日) 14:00(予定)
あわぎんホール 1階ホール

構成／演出／ワークショップ講師 内藤裕敬

(南河内万歳一座・座長)

プロフィール | 南河内万歳一座・座長。劇作家、演出家。大阪芸術大学舞台芸術学科教授。1959年栃木生まれ。大学の4年間、秋浜悟史教授(劇作家・演出家)に師事し、「リアリズムにおけるインチキの仕方」を追求。1980年、南河内万歳一座旗揚げ。現代的演劇の基礎を土台とし、常に現代を俯瞰した作品には定評がある。『ここからは遠い国』(演出)で、読売演劇大賞・優秀演出家賞受賞。南河内万歳一座『ラブレター』(作・演出・出演)で文化庁芸術祭優秀賞受賞など、その他受賞多数。2012年から10年間、「Re:北九州の記憶」を構成・演出を手掛け、10年間で89作の作品が生まれた。趣味は釣り、競馬。著作に『内藤裕敬／劇風録其之吉(内藤裕敬・処女戯曲集)』『青木さん家の奥さん』がある。



「徳島の記憶」 劇作家

申 込 書

ふりがな		年 齢	性 別
申込者氏名		歳	男 / 女
住 所	〒		
連絡先	TEL	FAX	
	E-mail	携帯電話	

記 入 欄

●演劇歴 出演作品や経歴や舞台芸術の体験など

●志望動機

●これまで観劇したなかで心に残っている作品

※ご記入いただいた個人情報については、本公演に関してのご連絡や公演運営上必要な用途以外には使用しません。